

200万人広島都市圏構想の実現に向けて

広島広域都市圏は、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超の維持を目指し、さまざまな分野で連携した取り組みを行っています。4月から、島根県の^{いすもし}出雲市、^{ますだし}益田市、^{よしからよう}吉賀町が加入し、33市町になりました。圏広域都市圏推進課(☎504-2017、☎504-2029)

ますます拡大する連携の輪

広島市を中心に、広島県、山口県、島根県の市町で構成している広島広域都市圏。今年4月から3市町が加わり、33市町になりました。

さまざまな特色のある33市町が力を合わせて、人口減少、少子化・高齢化などの状況に立ち向かい、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人

超の維持を目指す「200万人広島都市圏構想」の実現に向けて取り組んでいます。

瀬戸内海をまたいだ連携も

愛媛県の松山市を中心とした松山圏域と「産業振興」「観光振興」「地域振興」などの分野で圏域同士の相互連携を開始しました。

◆構成市町

広島県

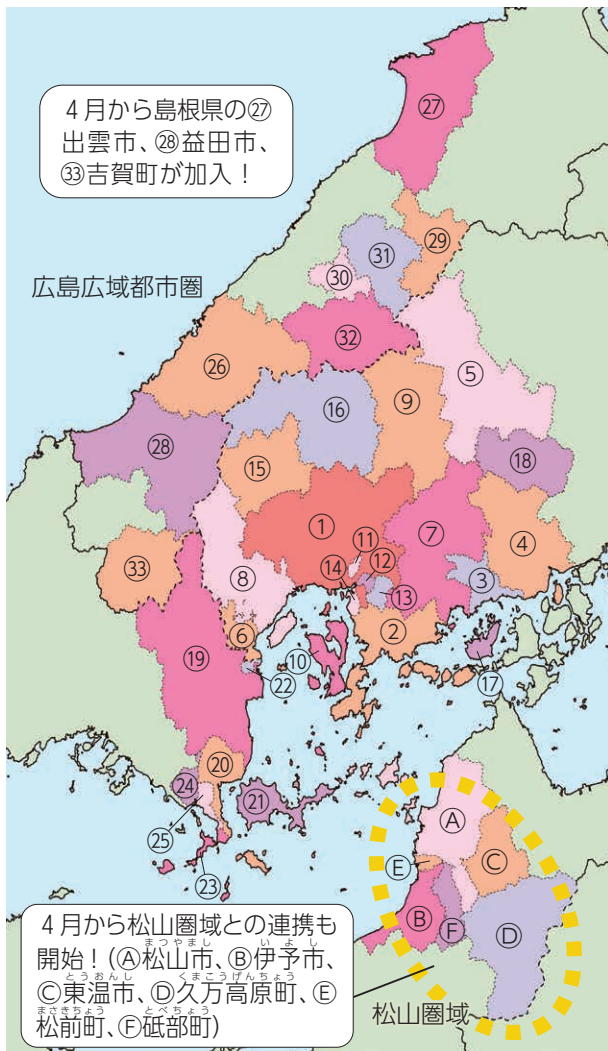
①広島市、②呉市、③竹原市、④三原市、⑤三次市、⑥大竹市、⑦東広島市、⑧廿日市市、⑨安芸高田市、⑩江田島市、⑪府中町、⑫海田町、⑬熊野町、⑭坂町、⑮安芸太田町、⑯北広島町、⑰大崎上島町、⑱世羅町

山口県

⑲岩国市、⑳柳井市、㉑周防大島町、㉒和木町、㉓上関町、㉔田布施町、㉕平生町

島根県

㉖浜田市、㉗出雲市、㉘益田市、㉙飯南町、㉚川本町、㉛美郷町、㉜邑南町、㉝吉賀町



◀マスコットキャラクター ひろしま都市犬「はっしー」

各市町を「はしわたし」し、多くの魅力を「はっしん」という意味が込められている「はっしー」。趣味は、おいしい食べ物とお酒を探すこと。

■ 200万人広島都市圏構想の実現に向けた取り組み

経済面	生活面	行政面
ヒト・モノ・カネ・情報 が巡る都市圏	どこに住んでも安心して 暮らしやすい都市圏	住民の満足度が高い 行政サービスを 展開できる都市圏
●広島広域都市圏の地域共通ポイント制度「としぽ」の運用 ●SNS「ひろたび」を活用した、圏域の観光スポットや歴史、豊かな食文化などの魅力発信	●24時間365日体制で電話による救急相談を受け付ける「救急相談センター広島広域都市圏・備後圏域 #7119」の運営 ●各市町を結ぶ広域交通網(公共交通・広域幹線道路)の充実・強化	●夜間・休日の二次救急医療の確保、保育サービス(病児・病後児保育、一時預かり保育)の広域利用 ●地域団体の交流などで公共交通を利用する際の経費の補助

広島広域都市圏

はっしー漫遊記 138

わがまち 今昔物語

近隣市町の魅力を一つずつ紹介する連載記事です。毎月1日号(1月を除く)に掲載しています。



たぶせちょう
田布施町

くにきだどっぽ 国木田独歩の詩碑



明治期に短編作家、詩人として名をはせた国木田独歩の詩碑が、麻里府公民館(同町)の敷地内にあります。碑面に刻まれているのは、「山林に自由存す」の一文。故郷を思い求める反面、自由に生きたいと願う独歩の心情がうかがえます。37年の短い生涯の大半を山口県で過ごした独歩。田布施を舞台にした作品を数多く残しています。

私が紹介
します!



田布施町教育委員会社会教育課
あらまきしゅうへい
荒詩周平さん

小中高生の学習を支援しています

市は、ひとり親家庭や生活困窮世帯のこどもたちのための学習会を開催するなど、こどもの学習を支援しています。進学や将来の不安を解消し、学習習慣を身につけ、基礎的な学力の向上を図ります。圏こども青少年支援部(☎504-2723、☎504-2727)

さらに支援を拡充

学習会では、こども3・4人のグループごとに、研修を受けた大学生などが指導しています。今年度からは、学習習慣などの定着に課題があるこどもを個別に支援するための個別学習支援員を一部の会場に配置。実施場所も1カ所増えました。

学習習慣を身につけ、 将来の目標を持つために

小学生には算数と国語、中学生と高校生には数学と英語を中心に指導します。

高校合格などを目標に中学校3年生に対しては、受験対策、進路相談なども。また、学習会に参加している中学校3年生や高校3年生に対しては、模擬試験受験料や大学などの受験料の補助もあります。

／利用者の声／

先生たちが親身になって相談に乗ってくれたので、自分の進路について向き合うことができました。学習会に参加して、改めて勉強の楽しさを知ることができました。



■学習会に参加して、一緒に勉強しませんか

【対象者】市内に在住の小学校4年生～高校生で、①児童扶養手当支給水準のひとり親家庭か、②生活困窮世帯(生活保護受給世帯、市くらしサポートセンターが支援する世帯、スクールソーシャルワーカーが支援している就学援助認定世帯)の人
※事前面談に受講者本人と保護者が参加でき、全日程に参加できる人に限る

【事前面談の日】5月17日(土)

【学習会の日時】6月7日(土)～来年3月8日(日)の期間で1回2時間。全36回

【会場】市総合福祉センター*、区地域福祉センター(中・東・西・安佐南*・安佐北・安芸)、区役所別館(南・佐伯)、公民館(安・真亀)

※高校生は*のみ

【申し込み】はがきかファクスで、住所、氏名、保護者名、学校名、学年、電



宿題などももらえる

話番号、希望会場を、4月25日(金) (必着)までに、①市母子寡婦福祉連合会(〒732-0822 南区松原町5-1)、②「〒730-8586 保護自立支援課」(住所不要)へ。選考①②合わせて小・中学生130人、高校生12人

【問い合わせ先】①市母子寡婦福祉連合会(☎264-0505、☎264-0506)、②保護自立支援課(☎504-2799、☎504-2169)

【その他】授業のペースについていけないなど、個別の支援がより必要なこどもに対しては、マンツーマン型の学習支援事業もあります。詳しくは保護自立支援課(☎、☎上記)へお問い合わせ